

# 地域貢献情報

## 当会の考え方

当会は、長野県を事業区域として、県内のJA等が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営している相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

当会の資金は、その大半が県内のJAにお預けいただいた農家組合員および地域の皆さまの大切な財産である貯金を源泉としております。当会では、資金を必要とする農家組合員の皆さまをはじめ、JA・農業に関連する企業・団体、県内の地場企業、地方公共団体等の皆さまにご利用いただいております。

当会は、農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、JAとの強い絆とネットワークを形成することによりJA信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めております。

また、金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

### ●会員数

(単位:会員)

資格区分	令和4年3月末	令和5年3月末
正会員	35	35
准会員	101	100
合計	136	135

### ●出資口数

(単位:口)

資格区分	令和4年3月末	令和5年3月末
正会員	20,781,800	21,073,238
准会員	2,983	2,983
合計	20,784,783	21,076,221

## 地域からの資金調達の状況

当会の譲渡性貯金を含めた貯金残高は、令和5年3月末で2兆8,567億円となりました。

当会では、農家組合員をはじめ地域の皆さまの計画的な資産づくりをお手伝いさせていただくため、目的に応じた各種貯金や国債、投資信託等の各種商品の取り扱いをしております。

## 新生活JAバンクではじめるぞうキャンペーン

長野県JAバンクでは、「長野県で働く皆さまに、JAバンクをもっと身近に感じていただきたい」との思いから、令和5年2月～4月の期間中、新たに給与振込の口座指定と当該口座にてJAネットバンクまたはJAカードを契約いただいたお客さまを対象に、QUOカードPay最大4,000円分をプレゼントする「新生活JAバンクではじめるぞうキャンペーン」を実施いたしました。



## 総合事業を活かした商品 懸賞品付定期貯金「Slow風土」

JA長野県グループでは、「食の安全・安心」をモットーに「食農教育」や「地産地消」の活動に取り組んでおります。長野県JAバンクの「Slow風土」は、豊かな信州の地で地元農家が愛情を込めて作り育てた食材を味わっていただくことで、信州の食と風土にあらためて触れ、親しんでいただきたいという思いから、平成21年より取り組みを継続している商品です。

令和4年度は、お客さまに信州の食と風土についてより一層親しみを感じていただけるよう、懸賞品の魅力や生産までのストーリー等を掲載したカタログを制作しました。

今後もJA事業の基盤である農業に対して、信用事業を通じたPRを行い、長野県の農業をバックアップしてまいります。



## 退職金専用定期貯金「GOGO人生」 年金受給者・予約者専用定期貯金「虎の子」

人生100年時代、長野県JAバンクではお客さまのライフステージに合わせた商品として、大切な退職金をお預けいただく「退職金専用定期貯金『GOGO人生』」や、JAでの公的年金受給者・予約者の方を対象とした「年金受給者・予約者専用定期貯金『虎の子』」をご用意しております。

また、長野県JAバンクでは、退職金の運用や年金相談等を実施しており、今後も地域に根差した金融機関として、皆さまのセカンドライフを応援してまいります。



## 県内温泉施設との提携商品「湯遊（ゆ〜ゆ〜）定期積金」

「湯遊（ゆ〜ゆ〜）定期積金」は、「長野県内の温泉等施設をご利用いただき、地域観光の活性化を図りたい」との思いから生まれた特典付き定期積金で、県内JAにて展開しております。ご契約いただいた方に、提携温泉等施設に応じた割引サービスが受けられる利用券を差し上げるもので、利用券は定期積金積立契約期間内に何回でもご利用いただけます。

### ●提携温泉等施設

(令和5年4月1日)

北信地区	戸狩温泉、小布施温泉、須坂温泉 等
東信地区	別所温泉、鹿教湯温泉、春日温泉 等
中信地区	大町温泉郷、美ヶ原温泉、穂高温泉郷 等
南信地区	上諏訪温泉、蓼科温泉、昼神温泉郷 等



※画像はイメージです

## 年金キャンペーン

令和5年3月から令和6年2月までの間、新たに県内JAで公的年金のお受け取りを始められた方に、「選べるプレゼント」を贈呈するキャンペーンを展開しております。

また、正しい年金記録に基づいた年金をお受け取りいただけるよう、県内4地区に年金相談員を置き、各JAの店舗において年金相談会を開催し、年金記録の確認サービスやお受け取り手続きのサポートを実施しております。

今後も「年金ならJAバンク」と言っていただけできるよう、皆さまの充実したセカンドライフのサポートに努めてまいります。



## 地域への資金供給の状況

皆さまからお預かりしているJA貯金を源とした当会の資金は、農家組合員やJA、事業者、地元企業、地方公共団体等においてご利用いただいております。

## 貸出金残高

区分	令和4年3月末	令和5年3月末
会員	21,128百万円	21,514百万円
地方公共団体等	57,200百万円	53,832百万円
その他（法人・個人）	278,264百万円	282,807百万円

## ●制度資金の取扱状況

(令和5年3月末)

資金名	概要	残高 (件数)
(株)日本政策金融公庫 (農林水産事業) 資金	国の施策に基づき、食糧の安定供給・農林漁業の振興・農山漁村の活性化等のために、農林漁業や食品産業への融資を長期かつ低利に行う資金	8,910百万円 (1,253件)
(株)日本政策金融公庫 (国民生活事業) 資金	教育資金（入学資金および在学資金等）を低利にて融資する資金	46百万円 (111件)
独立行政法人 住宅金融支援機構資金	住宅の建設および購入等に必要な資金を長期固定かつ低利にて融資する資金	10,436百万円 (1,155件)
農業近代化資金	施設の設置、農機具・家畜の購入等農業を営む方をバックアップする資金	1,300百万円 (64件)
中小企業融資制度資金	中小企業の皆さまが、事業経営に必要とする資金を円滑に調達し、大きく飛躍していただくための低利融資制度	1,226百万円 (48件)

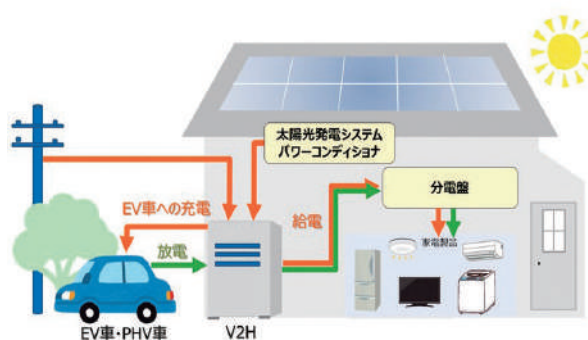
※当会が取り扱っている制度資金の一部です。

## JA住宅ローンにおけるサステナブルの取り組み

長野県JAバンクでは、脱炭素社会の実現と持続可能な開発目標（SDGs）の達成を金融面で後押しする観点から、電気自動車（EV/Electric Vehicle）の新規購入資金ならびに住宅に設置する充電・給電設備（V2H/Vehicle to Home）の購入・設置費用について、県内JAが取り扱う住宅ローンの資金使途に含めて一括融資する取り扱いを新たに開始いたしました。

また、電気自動車購入資金について新たに「おまとめ住宅ローン」の対象とし、個人のお客さまの月々の返済負担を軽減することで、環境負荷の少ない電気自動車の普及促進と脱炭素社会の実現を後押しいたします。

【参考】「V2H」(Vehicle to Home) の導入事例



## JA教育カードローン「Lip+」をリニューアル

長野県JAバンクでは、お子さまへの教育を応援するため、令和4年8月より、新たに「JA教育カードローンLip+」をご契約いただいた方に金利軽減を行っております。

さらに「Lip+」をご契約いただいた方全員に、特別特典として長野県産米2kgを贈呈するとともに、こども食堂等を運営する団体にもお米2kgを寄贈いたします。

この特別特典は、教育カードローンをご契約いただいた方へのお米の贈呈にとどまらず、社会貢献とJAの組合員が丹精込めて作られたお米の消費拡大につながる取り組みとして、令和4年8月から令和7年2月まで実施する予定です。



## お客さま本位の業務運営に関する取組方針

### お客さま本位の業務運営に関する取組方針

JAグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。そのなかで当会は、県内各地区単位のJAが行っている信用事業の県域段階組織として、県下JAの活動をサポートするとともに、より広いエリアでの金融サービスを提供する使命を担っております。

当会では、この理念および使命のもと、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、当会のみならず、県下JAの本所所管部を通じたサポート、情報提供を通じて県下JAの組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するとともに、当会を直接利用するお客さまの安定的な資産形成に貢献するため、以下の取組方針を制定いたしました。

今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、よりお客さま本位の業務運営を実現するため本方針を必要に応じて見直してまいります。

#### 1. お客さまへの最適な商品提供

- (1) 当会で定める会議体規程に基づく商品設計委員会を開催し、当会の投信窓販業務の商品選定・評価・決定・見直し、県下JAの投信窓販業務方針に関する事項を協議のうえ最適な商品を提供しております。なお当会は、金融商品の組成に携わっておりません。【原則2本文および（注）、原則3（注）、原則6本文および（注2、3）】

#### 2. お客さま本位のご提案と情報提供

- (1) 長野県JAグループにおいて、JAの補完機能的な役割を担う当会としては、お客さまの太宗が法人顧客であり、個人のお客さまは貯金、貸出のお取引のある法人関連（代表者や従業員）、JAグループ内の県域組織関連の職員等のお客さまが中心である特性を踏まえ、当会自身の個人のお客さまに対しては一段の注意を払い、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的をヒアリングすることを第一義に、そのヒアリング結果に合わせて、お客さまにふさわしい商品をご提案いたします。【原則2本文および（注）、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】
- (2) お客さまの投資判断に的確・迅速に対応できるよう商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供します。【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】
- (3) お客さまにご負担いただく手数料について、特に明瞭簡潔にお示しできるよう、「販売用資料」「重要情報シート」や「交付目論見書」を活用し、お客さまの投資判断に資するように、丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

#### 3. 利益相反の適切な管理

- (1) お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、当会規程に定める「利益相反管理方針」および「自己取引承認事務手続」に基づき取引の様態・規模・金額等による制限なく、適切に管理し、お客さまの保護を適正に確保します。【原則3本文および（注）】

#### 4. お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- (1) 県下JAの指導機関として、より良い提案を行うための人材育成について、年間を通じた研修会や研修コンテンツを充実させ、当会および県下JA職員のスキルアップ、能力向上に努めてまいります。また、人材育成における県域独自プログラムを構築し、継続的に人材育成を図ってまいります。【原則2本文および（注）、原則6（注5）、原則7本文および（注）】

(※) 上記の原則および注番号は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」（2021年1月改訂）との対応を示しています。

## 災害等に対する緊急時対応

JA長野県グループでは、降雹害や大雪被害等の自然災害により被害を受けられた皆さまに対し、一日も早い復旧・復興のための支援に取り組んでまいりました。

またJAバンクでは、県内農業者の皆さまに甚大な影響を及ぼしている農業生産資材等の価格高騰に対しても、助成事業の実施や融資商品の創設等による支援に取り組んでおります。

## 自然災害による農業被害

### ●被災された農業者の皆さまに対する緊急支援

長野県JAバンクでは、被災後の農業復旧・復興を目指す農業者の皆さまに向けた対策資金を用意しております。

令和4年5月に発生した降雹害および令和5年2月に発生した大雪被害に際しては、県内JAおよび当会に相談窓口を設置するとともに、被災された農業者の皆さまにJAバンク利子補給により低利でご利用いただけるJAアグリマイティローン「災害緊急資金」を用意いたしました。

## 生産資材等価格高騰対策

### ●助成金対応

昨今のウクライナ情勢悪化、外国為替の円安基調等に端を発し、県内農業者の皆さまにも甚大な影響を及ぼしている農業生産資材等価格高騰に対し、当会は農林中央金庫との協調事業として、令和4年12月に「生産資材等価格高騰対策（助成事業）」を実施いたしました。

農業者の皆さまを支援するためにJAが実施した割引等の事業へ当会・農林中央金庫が協調して助成を行うことで、農業者の皆さまの費用増加負担に対して間接的な支援を実施いたしました。

令和4年度は総額約122百万円の助成申請を受け付け、令和5年度も継続して実施する予定です。

### ●資金対応

農業者の皆さまの持続可能な経営に向けた資金繰りの支援として、JAバンクの助成制度の活用に加え、当会独自の利子補給や保証料助成も活用した「生産資材等価格高騰対策資金（融資商品）」を創設いたしました。

令和4年12月～令和5年4月の取扱期間において、各JAで総額約10億円の資金対応を実施いたしました。

## 新型コロナの拡大により影響を受けられた農業者・中小企業者等の皆さまへの支援

長野県JAバンクでは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により影響を受けられた農業者の皆さまに向けて、令和5年3月末までJAアグリマイティローン「災害緊急資金」のJAバンク利子補給に加え、保証料の全額助成による支援を実施いたしました。また、中小企業等事業者の皆さまに向けて、「長野県中小企業融資制度」を活用した資金対応や貸出条件の変更等による支援を実施いたしました。

引き続き、経営の維持に必要な資金や貸出条件の変更等について、迅速かつ適切な対応に努めてまいります。

## 地域密着型金融への取り組み

当会は経営理念に基づき、県内JAと一体となり長野県農業の発展と農家経済の向上を金融面から支援させていただくとともに、引き続き地域金融機関として地域社会、経済の持続的発展に貢献してまいります。

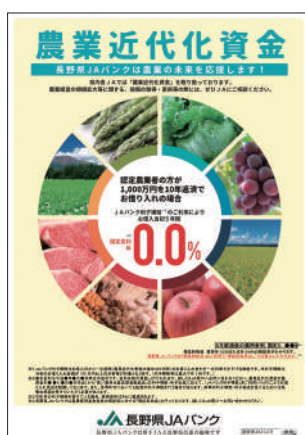
## 農山村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援への取り組み

### ●長野県JAバンクの農業者向け資金

長野県JAバンクでは、農業者の皆さまからのお借り入れ相談に対応するため各種農業資金を用意しております。JAプロパー資金としては、幅広く利用しやすい「JAアグリマイティーローン」や農機具購入にスピーディに対応できる「JA農機ハウスローン」、農業経営に必要な運転資金として「農業経営ローン（ゆたか）」等の取り扱いを行っております。

また、農業近代化資金や(株)日本政策金融公庫（農林水産事業）資金をはじめとする、各種制度資金等の利用促進に向けて取り組んでおり、令和4年度の新規実行額は農業近代化資金1,551百万円、公庫資金1,495百万円となっております。

引き続き農業者の皆さまのニーズ把握に努め、商品力拡充に取り組むとともに、全農長野県本部主催の「農機&資材フェスタ」等のイベントやマスメディアを通じたPRを行い、長野県の農業をバックアップしてまいります。



## 担い手の経営のライフステージに応じた支援への取り組み

### ●新規就農者支援

長野県JAバンクでは、新規就農者の経営と生活をサポートするため「JA新規就農応援資金」や(株)日本政策金融公庫「青年等就農資金」等、各種新規就農者向け資金の取り扱いを行っております。

### ●経営不振農家の経営改善支援

長野県JAバンクでは、負債整理資金の対応等、行政および関係機関と連携して経営不振農家の経営再建に向けた支援に取り組んでおります。

## 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ担い手に適した資金供給手法への取り組み

### ●農業融資への利子補給・保証料助成の実施

農業経営の安定化・効率化を金融面から支援することを目的として、JA・当会が融資する農業関係資金のうち、一定の要件を満たす場合において、農業者の金利負担および保証料負担を軽減するJAバンク利子補給事業および保証料助成事業を実施しております。

令和4年度は、3,409件・53百万円の利子補給申請を受けました。また農業信用基金協会への信用保証料助成についても678件・51百万円の申請を受け付けました。

これらの事業を通じて、引き続き農業者の方々への支援に積極的に取り組んでまいります。



### ●農業法人向け資本供与

当会では、平成22年度よりアグリビジネス投資育成(株)の農業法人に対する資本供与手法の一環である「アグリシードファンド」等の活用促進に取り組んでおり、令和5年3月末基準の投資実績は14件・134百万円となっております。

令和4年度においては、台風災害等を受けた農業法人2先に対し「復興ファンド」による新規投資を行いました。



### ●本業支援への取り組み

「本業支援」とは単なる資金仲介にとどまらず、お客さまの売上向上や製品開発など「企業価値向上に資する支援」であり、当会では営業統括部ビジネスサポート課を窓口に関しJAグループネットワーク、公的機関等外部ネットワークと連携した取り組みを行っております。

#### サポートメニュー

#### 販路拡大支援 ビジネスマッチング



お客様の新たな販売先開拓や仕入先拡大等、様々な経営課題に対して、ビジネスにおける需要と供給の一致を目指して商談の場をご提供を目指します。

#### 不動産マッチング



お客様の様々な不動産ニーズ（ご購入、ご売却、賃貸など）に応じて、各種ネットワークや提携不動産会社を通じて、不動産にかかるマッチングの実現を目指します。

#### 人材支援



「人手不足」が深刻化する中、経営課題として「人材の確保」を挙げられる企業様が増加している状況にあります。公的機関および提携人材仲介会社を通じて、「人材の確保」に向けた取り組みを進めて参ります。

#### 補助金申請支援 社内規則等作成支援 知的財産権支援



各種補助金申請手続きや社内規則作成などを目指すお客様に対して、提携会計事務所と連携した取り組みにより、各種手続き等の作成サポートを行います。

#### 事業承継支援 M&A 廃業支援



事業承継やM&Aなどのお悩みについて、公的機関および提携M&A仲介会社、提携会計事務所等との連携により、円滑な事業承継、M&Aをサポート致します。

#### 金融支援

リースのご活用やクラウドファンディングのご活用等のご相談に応じ、ご提案申し上げます。

(上記については状況に応じて、「ビジネスマッチング基本契約書」を締結し、サポートを致します。)

## ● 主な取組事例

花き栽培を行うA社は単価低迷からの業況改善を目指して、数年前から高単価な野菜栽培へ品目を転換。新品目の栽培技術習得とともに高い品質の栽培は行えるようになったものの、これまでとは異なる農産物の販売先確保に苦慮し、特定の販売先へ依存するより他なく、高品質であるにもかかわらず優位販売ができずにいた。

そこで当会はA社より新たな販路開拓の相談を受け、当会ネットワークを活かし、高品質な農産物の仕入先を模索していた県内農産物直売所、県内百貨店やECサイトなどを紹介。

A社と当会が紹介した販売先の間で複数の商談が成立し、課題であった特定販売先への依存からの脱却にも兆しが見え、自社農産物の品質に自信が持てるようになった。新たな販売先での売れ行きも順調に進んでおり、取引量の更なる拡大を目指している。

## 事業者向けセミナーの開催

当会では、地域経済の活性化（地域創生）に向け、事業者の皆さまの経営の安定や成長をサポートすべく、各種セミナーを開催しております。

セミナーでは、各種制度や時事問題への対応等、事業者の皆さまの経営に役立つ情報を提供しております。令和4年度は「知的財産セミナー」「DX基礎セミナー」「食農セミナー」等を開催し、多くのご参加をいただきました。

今後も、幅広くお気軽にご参加いただけるよう、対面集合形式に加え、オンライン形式も活用しながら、セミナーのテーマを厳選し、開催してまいります。



事業者向けオンラインセミナー

## 経営改善・事業再生支援への取り組み

### ● 「信州中小企業支援ネットワーク会議」「信州みらい応援2号ファンド」

「信州中小企業支援ネットワーク会議」の正会員として長野県信用保証協会や長野県中小企業活性化協議会等と連携し、県内金融機関との企業再生ノウハウの共有と担当者間の連携強化に取り組んでおります。

また、当会を含む信州中小企業支援ネットワーク会議メンバーおよび独立行政法人中小企業基盤整備機構が出資する長野県版の中小企業再生ファンド「信州みらい応援2号ファンド」を活用し、個別貸出先等の経営改善支援・事業再生支援に取り組んでおります。

## 観光産業活性化に向けた取り組み

平成20年より信州キャンペーン実行委員会に加入し、構成団体の一員として観光の発展に繋がる取り組みを行っております。

多くの観光事業取引先が新型コロナウイルスの感染長期化により厳しい経営環境に直面するなか、探求的対話を通じた事業性評価に基づく金融対応を行い、県内観光地の面的支援に取り組むほか、各種経営課題に対して当会の提携専門家や長野県よろず支援拠点等と連携し、本業支援および事業承継支援に取り組んでおります。



## 中小企業の経営改善および地域活性化への取り組み

中小企業の経営の改善については、「金融円滑化にかかる基本的方針」に基づき、適切な業務遂行に向け、経営改善計画の策定支援や貸出条件の変更、新規貸出対応を行っております。

また、外部専門家・外部機関と連携して、お客さまの経営課題の解決支援を通じ、地域の活性化に取り組んでおります。

### ●金融円滑化にかかる基本的方針

当会は、農業協同組合等を基盤とする協同組織金融機関として、「金融業務の公共性に鑑み、利用者保護を確保しながら金融の円滑化を図る」ことを地域金融機関としての存在意義、および社会的責任と認識しています。

平成25年3月末に中小企業等金融円滑化法の期限は到来しましたが、引き続き以下の方針に基づき、金融円滑化の取り組みに努めてまいります。

#### 金融円滑化にかかる基本的方針

1. 当会は、お客さまから新規融資や貸付条件の変更等のご相談、およびお申込みがあった場合には、お客さまの特性および事業の状況を勘案しつつ、できる限り、柔軟に対応するよう努めてまいります。  
また、お客さまの経験等に応じて、説明を適切かつ十分に行うように努めるとともに、お断りさせていただく場合には、その理由を可能な限り具体的、かつ丁寧に説明するよう努めてまいります。
2. 当会は、与信判断にあたって、過去の貸付条件対応等にかかわらず、お客さまの事業の成長性や将来性等を勘案しつつ、実情に応じた検討や判断を行うよう努めてまいります。
3. 当会は、事業を営むお客さまからの経営相談に、積極的かつきめ細かく取り組み、お客さまの経営改善に向けた取り組みをご支援できるよう努めてまいります。  
また、上記対応のため、各担当者の能力向上に努めてまいります。
4. 当会は、お客さまからの新規融資や貸付条件変更等のご相談・お申込みに対する問い合わせ、相談および苦情については、公正・迅速・誠実に対応し、お客さまの理解と信頼が得られるよう努めてまいります。
5. 当会は、お客さまからの新規融資や貸付条件変更等のお申込みに、事業再生ADR手続の実施依頼の確認または地域経済活性化支援機構もしくは東日本大震災事業者再生支援機構からの債権買取申込み等の求めについて、関係する他の金融機関（政府系金融機関等、信用保証協会等および中小企業再生支援協議会を含む）と緊密な連携を図るよう努めてまいります。  
また、これらの関係機関等から照会を受けた場合は、守秘義務に留意しつつ、お客さまの同意を前提に情報交換を行う等、連携に努めてまいります。
6. 当会は、金融円滑化にかかる体制として、「コンプライアンス委員会」でその対応を協議・管理するとともに、営業本部長を「金融円滑化管理責任者」とし、さらに、各営業店および関係部署に「金融円滑化管理担当者」を配置して、金融円滑化の方針等の徹底に努めてまいります。

## ● 「経営者保証に関するガイドライン」への取組方針について

当会は、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨をふまえ、本ガイドラインを尊重、遵守してまいります。

### 1. 経営者保証に依存しない融資の一層の促進について

法人個人の一体性の解消等が図られている、あるいは、解消等を図ろうとしている農業者等のお客さまから資金調達のお申込みをいただいた場合には、ガイドライン要件の充足状況や経営状況等を分析し、経営者保証の必要性等を総合的に判断します。

### 2. 経営者保証の契約時の対応について

- (1) 当会は、お客さまと保証契約を締結する場合、お客さまの理解と納得を得ることを目的として、保証契約の必要性等に関し丁寧かつ具体的な説明を行います。
- (2) 保証金額の設定につきましては、お客さまの各ライフステージにおける取組意欲を阻害しないようお客さまの資産および収入の状況、融資額、信用状況、適時適切な情報開示の姿勢等を総合的に勘案して設定します。

### 3. 既存の保証契約の適切な見直しについて

- (1) お客さまから既存の保証契約の解除または変更等の申し入れを受けた場合には、ガイドラインに則して改めて経営者保証の必要性や適切な保証金額等について検討を行うとともに、その検討結果についてお客さまに対し、丁寧かつ具体的な説明を行います。
- (2) 事業承継時には、前経営者が負担する保証債務について、後継者に当然に引き継がせるのではなく、ガイドラインに則して改めて経営者保証の必要性や適切な保証金額等について検討を行うとともに、その検討結果についてお客さまに対し、丁寧かつ具体的な説明を行います。  
また、前経営者から保証契約の解除を求められた場合には、解除について適切に検討し判断します。

### 4. 経営者保証を履行する時の対応について

経営者保証における保証履行を万一求める場合には、お客さまの資産状況などを総合的に勘案した上で履行の範囲を決定します。

## 非対面サービスの取り組み

### J Aバンクアプリ・J Aネットバンク

J Aバンクでは、窓口に出向くことなく利用できる便利で安心なサービスを提供し、更なる機能拡充に努めております。

J Aバンクアプリは、残高や入出金明細の照会ができるスマートフォン専用のアプリです。積立式定期貯金や定期積金の取り組み状況をグラフで表示する等、わかりやすく親しみやすいデザインで、2021年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。

令和4年4月には、払込票決済サービス「P a y B（ペイビー）」の提供を開始し、払込票のバーコードをJ Aバンクアプリで読み取ることにより、税金・公共料金や通販代金などの支払いが可能となりました。また、令和4年11月の通帳レス口座サービスの開始に伴い、紙の通帳の代わりにJ Aバンクアプリで口座の管理が可能となる等、ますますの機能拡充を図っております。

J Aネットバンクは、振込・振替などの各種取引ができるサービスであり、新規申込登録の当日より利用可能です。設定の手順も簡単で、利用しやすいサービスとなっております。

J Aバンクは、便利で安心なサービスを提供し、より身近に感じていただける金融機関となるよう、取り組んでまいります。



### J Aネットローン

J Aネットローンは、インターネットで24時間365日、気軽に事前申し込みができるサービスです。長野県J Aバンクでは、J Aネットローンで仮申込みをいただいたお客さまに対し、年0.1%の金利軽減を行っています。これまでは「J Aネットローンキャンペーン」として期間限定で実施してきましたが、利用者の皆さまにご好評をいただいたことから、令和3年7月より通年で実施しています。



### J Aバンク投信ネットサービス

少子高齢化、長引く低金利、足下のインフレといった、私たちの生活を取り巻く金融環境の変化に伴い、「資産形成・資産運用」の必要性や、関心・ニーズが高まっています。

長野県J Aバンクでは、こうしたニーズに寄り添うコンサルティング業務を強化しつつ、投資に関する十分な知識や経験をお持ちの方や、非対面での取引を希望される方等の利便性向上のため、投信ネットサービスを開始いたしました。本サービスにより、投資信託口座やN I S A口座の開設、投資信託の買付・解約等、一定のお取引を非対面で行っていただけます。

### 優遇プログラムサービス

令和4年3月より「長野県J Aバンク優遇プログラム」のサービスを開始しております。本サービスにより、お客さまのお取引状況等に応じて、コンビニ3社（セブン銀行・イーネット・ローソン銀行）A T Mの入出金手数料が月2回まで無料となります。



## 地域へのPRの強化

### 地域イベントへの協賛

長野県JAバンクでは、JAをより身近に感じ、ご利用いただくためのきっかけ作りとして、各種イベントに協賛しました。

#### ●プレママ&ベビーFes in nagano

当イベントは、これからママになる妊婦さんと、お子さまがいるご家族に向けて開催されました。当日はよりぞうグッズが当たるカプセルトイや、よりぞうと一緒に写真が撮れるフォトブースを設置し、たくさんのご家族で賑わいました。また、資産形成・運用の相談ブースも設置し、将来のライフイベントに備えた資産形成・運用の重要性をPRいたしました。

(開催日：令和4年9月20日、21日、22日)



#### ●長野県JAバンクカップ SBC長野県少年サッカー交歓会

県内プロサッカーチームの活躍もあり、スポーツを中心とした「地域密着」や「地域活性化」の動きが顕著となっています。近年では少年少女のサッカーチームも増加傾向にあり、さまざまな大会や教室が開催されています。

そのなかでも本大会は50年続く歴史ある大会であり、将来のプロサッカー選手を夢見る小学生たちが熱戦を繰り広げています。

長野県JAバンクでは、平成28年度から本大会の冠スポンサーとして協賛し、スポーツを通じた地域活性化と子どもたちの夢を応援しています。(開催日：令和4年10月29日)



#### ●SBC子どもフェスタ

当イベントは、コロナ禍で学びの機会が少なくなってしまった子どもたちに、職業体験やものづくり体験等を通じて、改めて「学び」や「体験」の楽しさを知り、「未来」や「夢」を感じてもらいたいという思いから開催されました。

当日は長野県産アルストロメリアを使用した花束作りが体験できるブースを設置し、子どもたちは色とりどりのアルストロメリアの中から好きな色を選び、花束作りを楽しんでいました。あわせて、ご来場いただいたご家族にチラシを配布し、各種ローン商品や便利なサービスをPRいたしました。(開催日：令和5年3月19日)



今後も長野県JAバンクでは、幅広いお客さまにご利用いただけるよう、地域イベントへの協賛を通じた積極的なPRに努めてまいります。

## 長野県JAバンクオリジナルテレビCMの展開

長野県JAバンクでは、県統一PRとして各種キャンペーン等を実施し、長野県JAバンクの利便性や魅力ある商品ラインナップを訴求するとともに、親しまれる「JAバンク」としてイメージアップに取り組んでいます。

特にテレビCMについては、長野県JAバンクオリジナルCMによるPRを積極的に展開しています。

### ●ローン



住宅ローン「父篇」



住宅ローン「母と娘篇」



住宅ローン「息子篇」



JAネットローン

### ●年金



年金ならJAバンク篇

### ●非対面チャネル



非対面チャネル「アプリ篇」



非対面チャネル「総合篇」



非対面チャネル「ネットバンク篇」

### ●相続



相続の準備はJAバンク篇

## 文化的・社会的貢献活動に関する事項

当会は経営理念に基づき、地域に密着した事業を通じて、農業と自然を基本とした、みどり豊かな信州づくりを目指しております。

地域社会との信頼関係を築き、地域社会の一員としての責任を果たすため、本来の事業活動に加え、地域文化・スポーツ活動への貢献、環境問題にも積極的に取り組んでまいりました。

これからも当会の経営理念に基づき、農村・地域・住民の方々本位のサービスに徹し、地域社会の発展に貢献してまいります。

### J Aバンク食農教育応援事業

J Aバンクアグリ・エコサポート基金とJ Aバンクでは、食農教育を中心とする教育実践活動を通じ、子どもの農業に対する理解の深耕を図り、農業ファンづくりや地域の発展に貢献することを目的として、「J Aバンク食農教育応援事業」に取り組みました。

この取り組みの一環として、「食農教育」「環境保全」「金融経済」をテーマとする小学生向けオリジナル教材本「農業とわたしたちの暮らし」と補助教材DVDを制作し、県内の全小学校と特別支援学校に寄贈しています。



### NPOホットライン信州へのお米の寄贈

長野県J Aバンクでは、県内J Aにおいて特定のローンのご契約等をいただいたお客さまに長野県産米2kgを贈呈するとともに、こども食堂等を運営する団体に同数のお米を寄贈するという企画を実施しています。

令和5年4月20日に、令和4年度に企画を通じてお客さまに贈呈した長野県産米2kgと同数の703袋（約1.4トン）のお米を、長野県内のこども食堂の運営・普及、生活困窮家庭に対し生活必需品支援等を行う特定非営利活動法人NPOホットライン信州（松本市）に寄贈いたしました。

なお、この取り組みは令和7年2月まで3年間実施する予定です。



## 利用者ネットワーク

日頃、ご利用いただいている皆さまに有益な情報をご提供し、相互の交流を一層深める目的でさまざまな活動を行っております。

### 共栄会

融資のお取引をいただいている法人の皆さまを対象に、外部より講師を招いての経済セミナー、制度改正等時宜のテーマに沿った実務セミナーを開催しご好評いただいております。

また、親睦会を通じ会員相互の交流によるネットワークづくりのお手伝いをしております。

### JA年金友の会

県内JAで年金をお受け取りいただいている約18万人の皆さまにより組織されているのが「JA年金友の会」です。

JA年金友の会では、旅行、スポーツ等さまざまなイベントを開催して、会員の皆さまのいきがいや仲間づくりのお手伝いをさせていただいております。

特にマレットゴルフについては、各JAでの大会のほか、県大会も実施し、会員の皆さまが日頃の練習の成果を発揮する機会であるとともに、交流の場ともなっております。(県大会につきましては、令和2年度から令和4年度は新型コロナウイルスの影響を考慮し中止いたしました)



### 金融情報誌「JAmp」

情報誌「JAmp」を季刊で発行し、県内JAバンクの業務案内やトピックス等、会員の皆さま向けに有益な情報を提供しております。



©よりぞう